

大阪府農空間保全協議会に見る都市農地 を媒介とした交流形態に関する研究

研究の背景及び目的

研究の背景

- ・都市農地が市街地の進展に伴い年々減少している。
- ・都市農地は都市住民にとって身近な緑地空間であり、その価値が再認識されつつある。
- ・都市農地の保全には、地域内外の住民との各種交流活動を通じた農空間への意識の醸成を図ることが求められている。

研究の目的

大阪府下の農空間保全協議会に着目し、そこでの都市農地を媒介とした交流の実態を把握することとした。

大阪府下の農空間保全協議会

- ・大阪府下の農空間保全地域内
- ・多面的機能支払交付金を活用
- ・農業・農地の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同の活動に取り組む団体

多面的機能支払交付金

①農地維持支払交付金

水路の泥上げ、農道の路面維持等

②資源向上支払交付金：

農村環境保全活動

生態系保全、景観形成、緑化活動 等

多面的機能の増進を図る活動

生き物調査、地域住民との交流活動 等

協議会の取組実態：調査方法

調査対象

- ・大阪府下の農空間保全協議会：48団体(2021年時点)

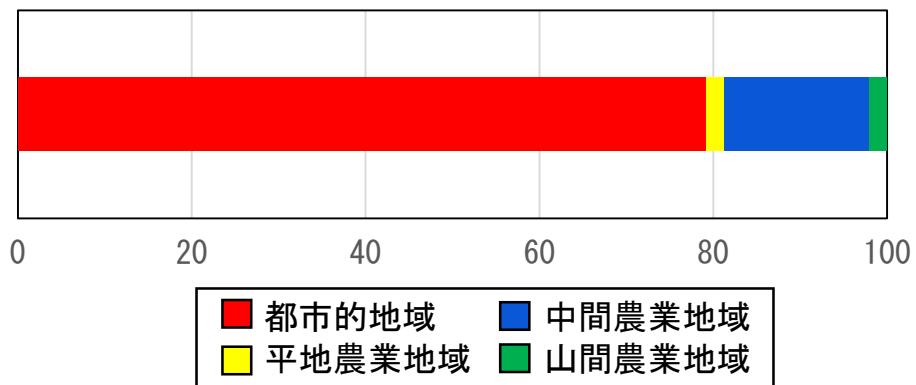
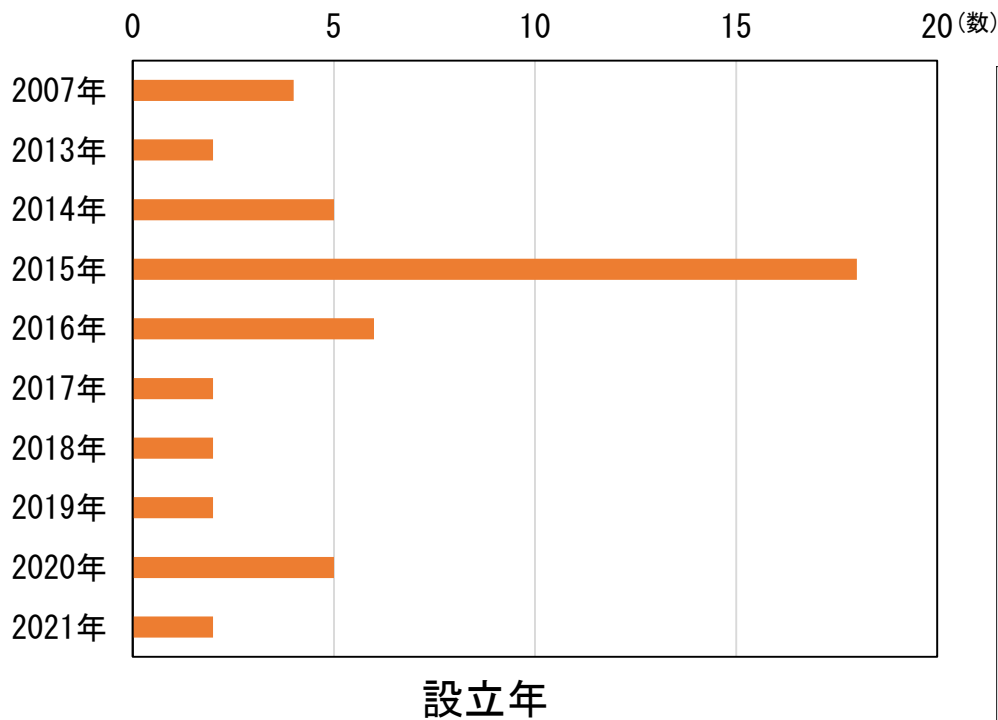
調査方法

- ・令和3年度継続地区(農地維持活動のみ)
- ・令和3年度資源向上活動取組：活動報告書等資料
- ・大阪府環境農林水産部へのヒアリング調査(2024年10月～11月)

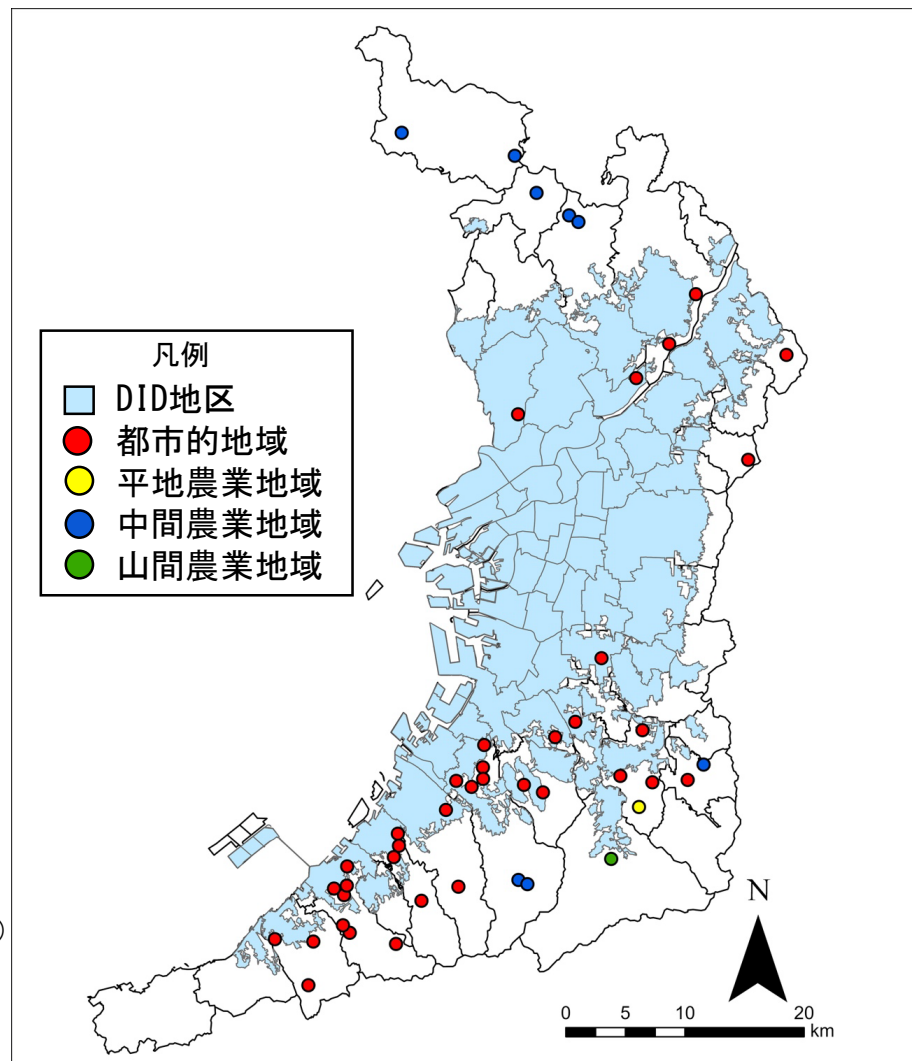
調査項目

- 「立地位置」 「設立年」 「団体の管理対象面積」 「交付金内訳」
- 「主な構成員」 「活動開始前の状況や課題」
- 「取組内容」 「効果」

協議会の取組実態：結果

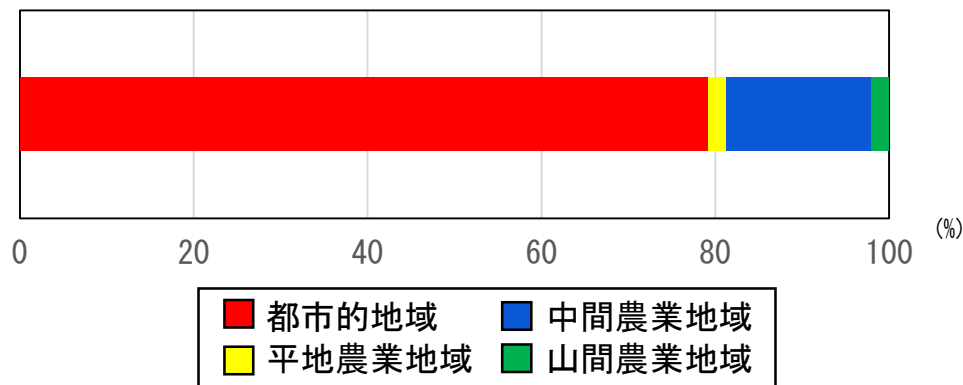
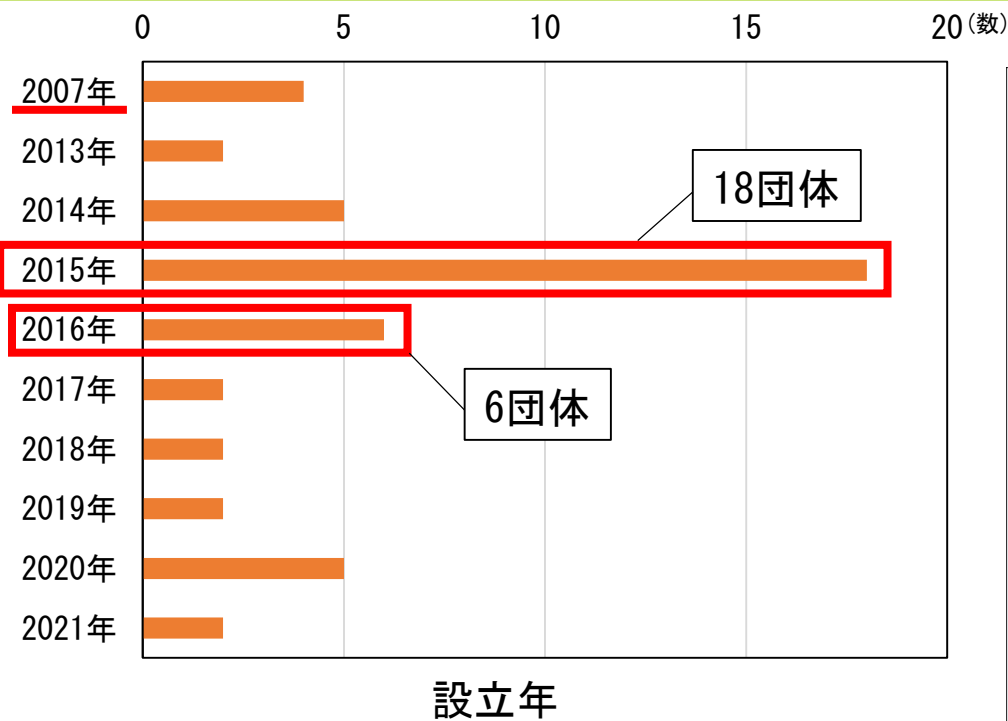


立地位置

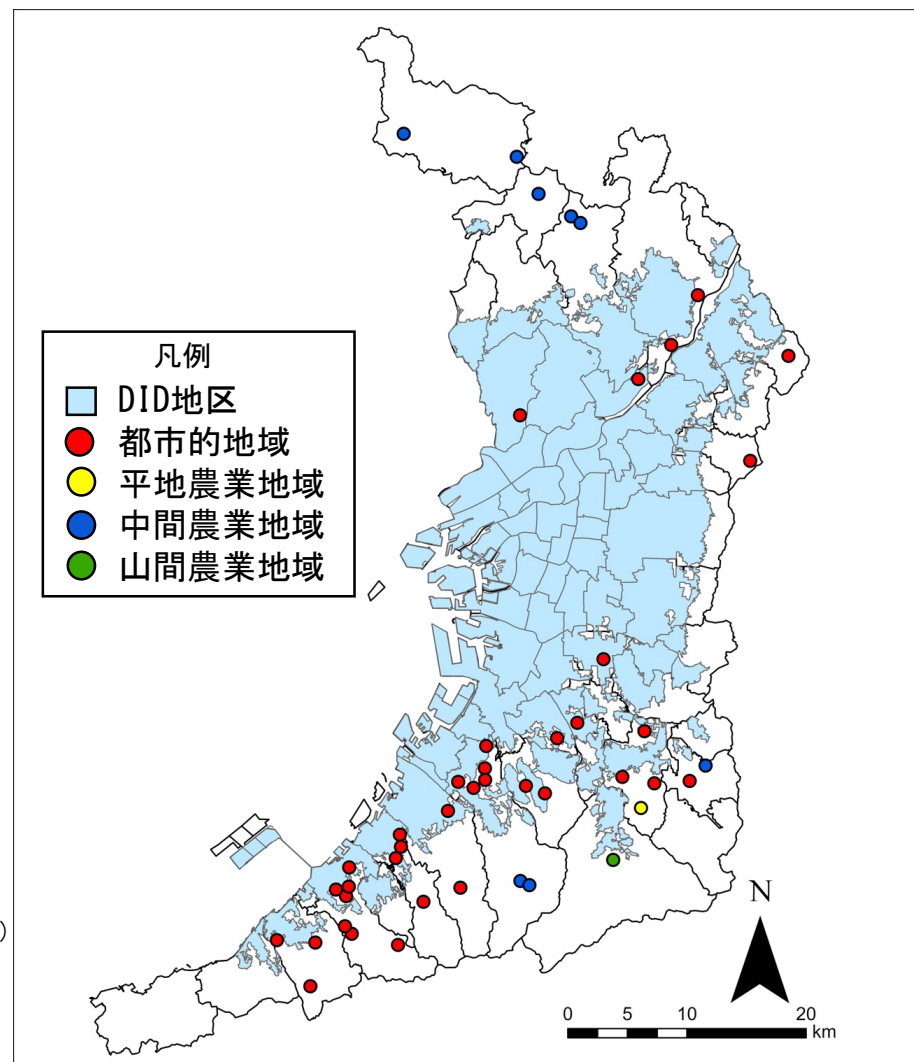


立地位置図

協議会の取組実態：結果

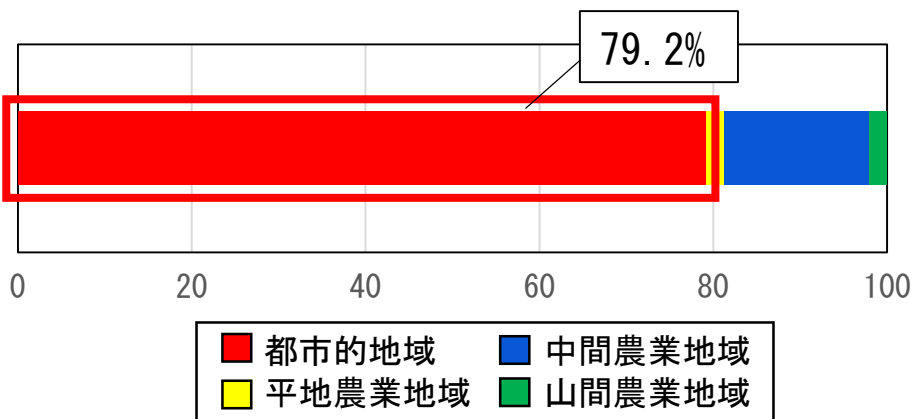
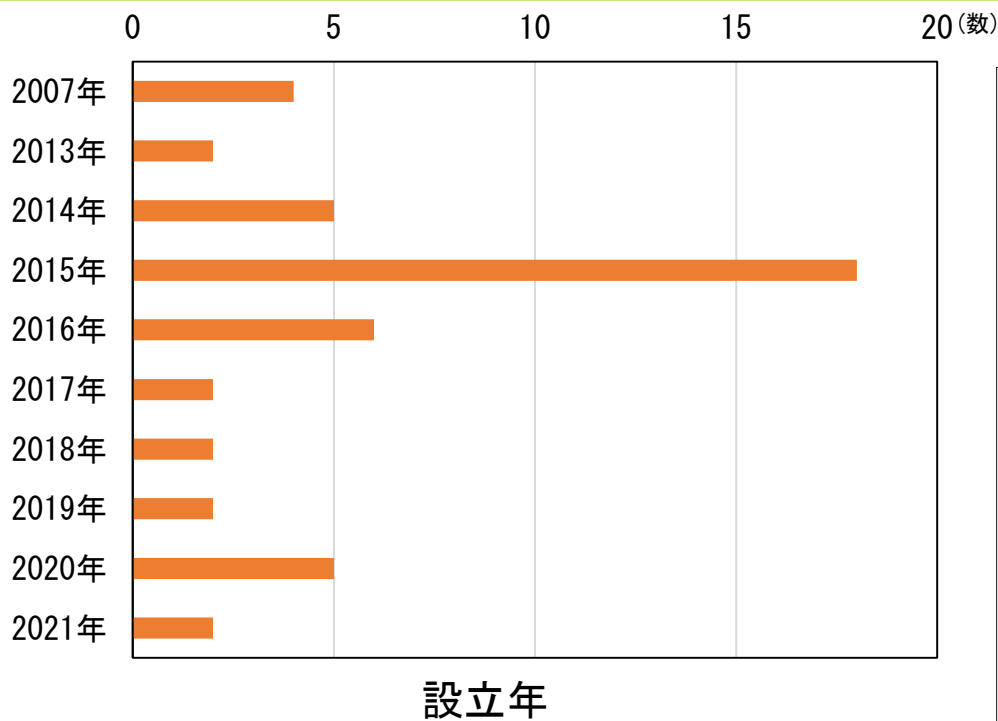


立地位置

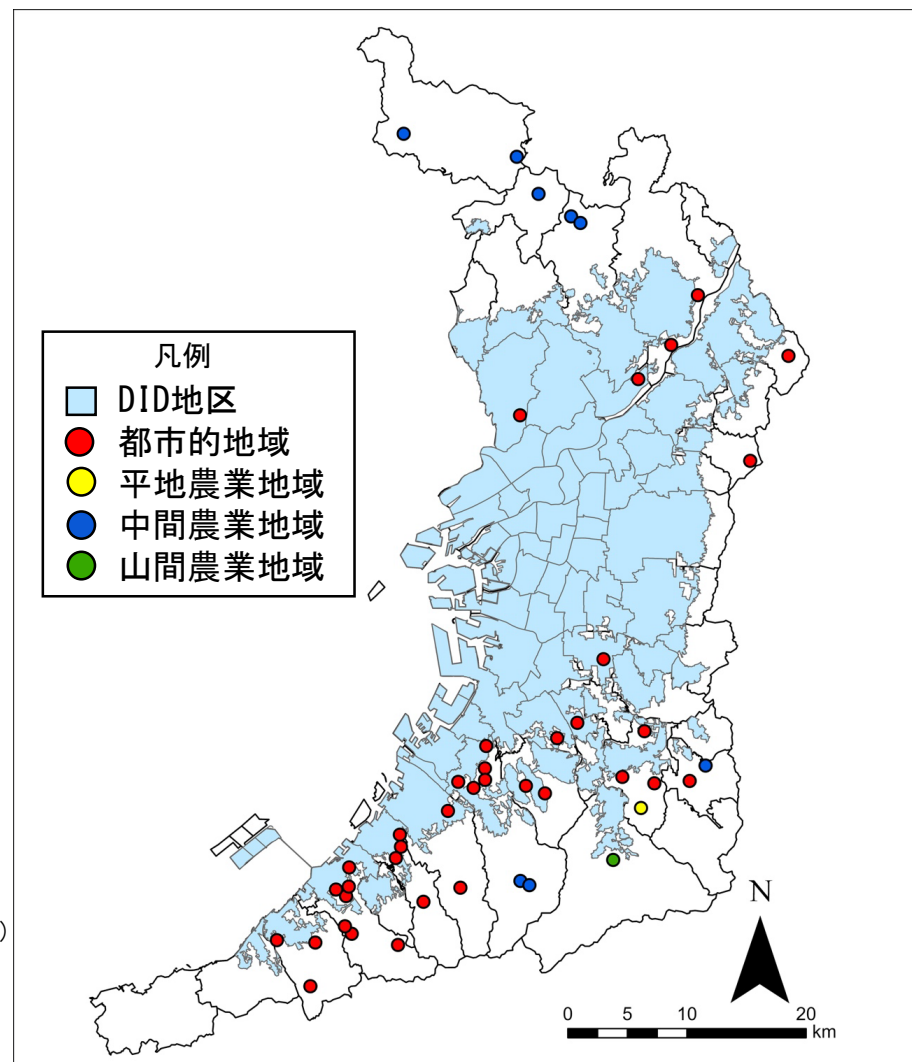


立地位置図

協議会の取組実態：結果

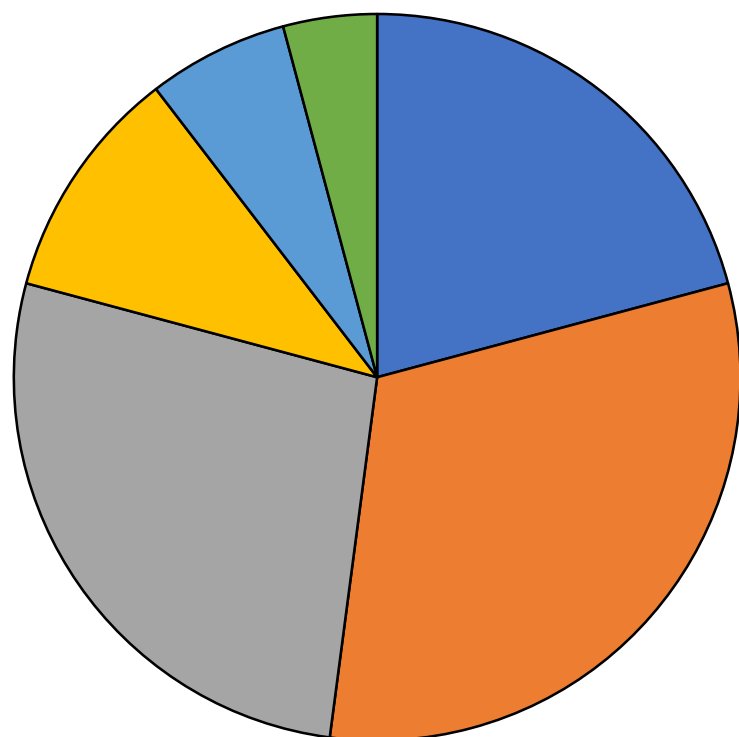


立地位置



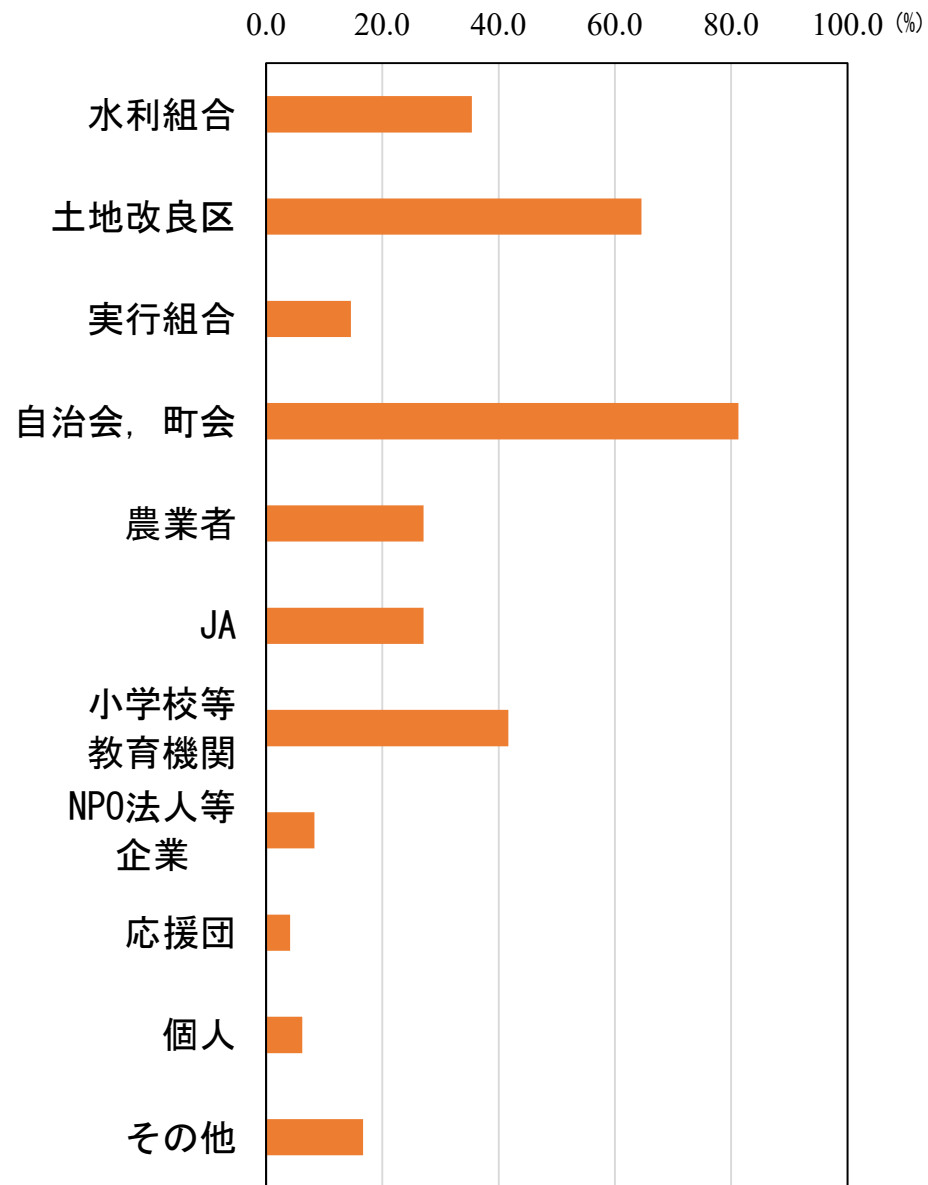
立地位置図

協議会の取組実態：結果



■ 1~10ha ■ 50~100ha
■ 10~20ha ■ 100~300ha
■ 20~50ha ■ 不明

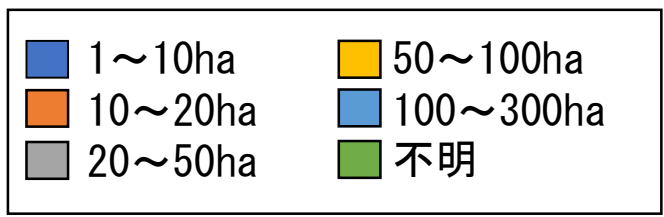
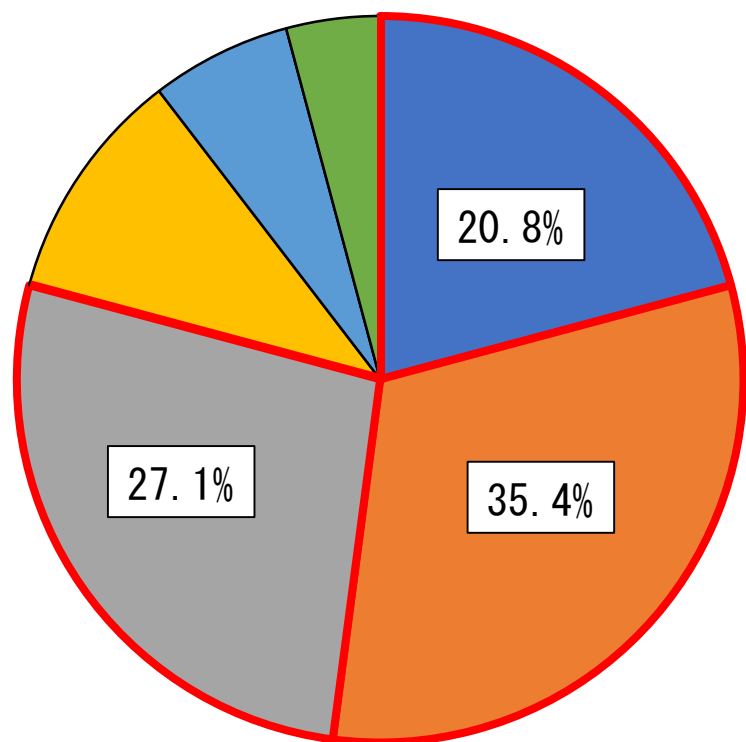
管理対象面積



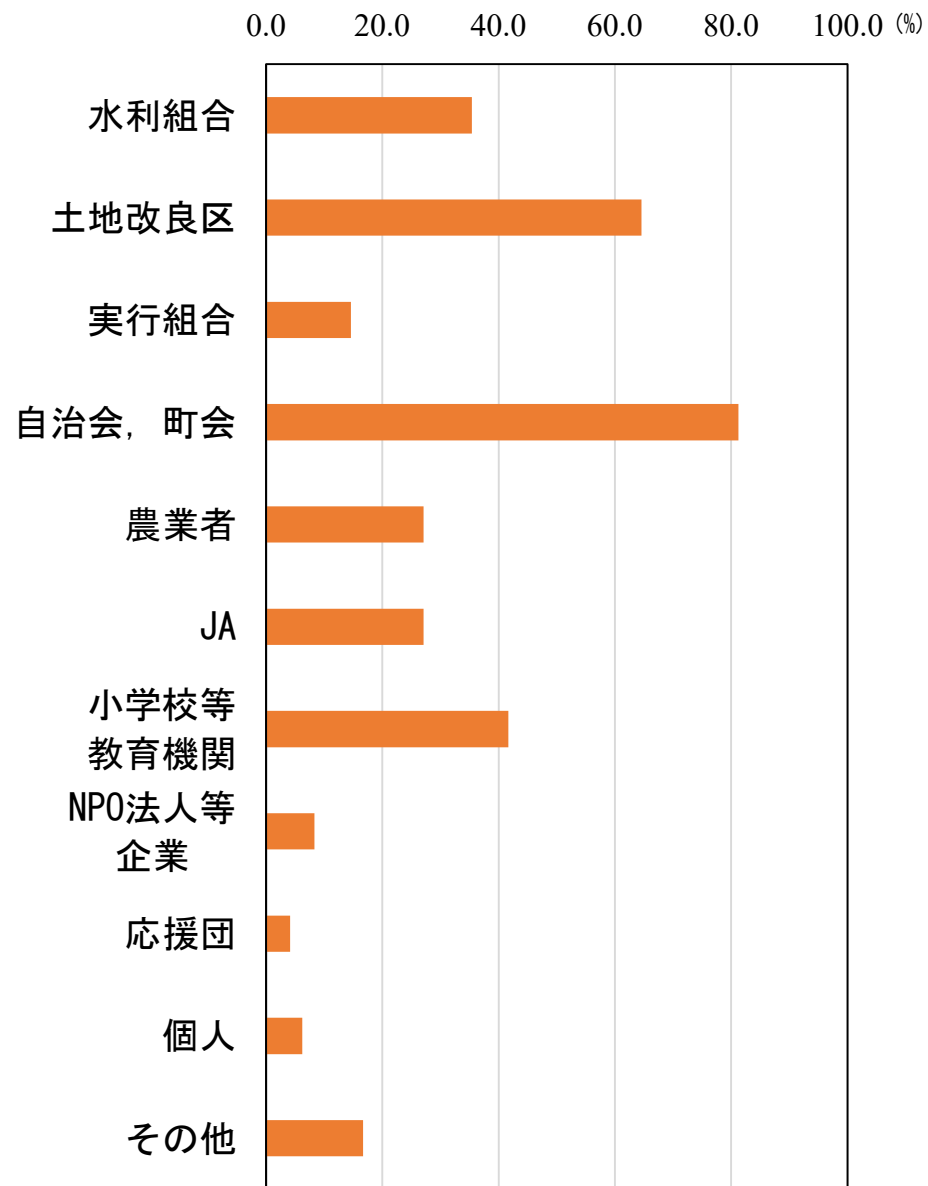
主な構成員

(複数回答)

協議会の取組実態：結果



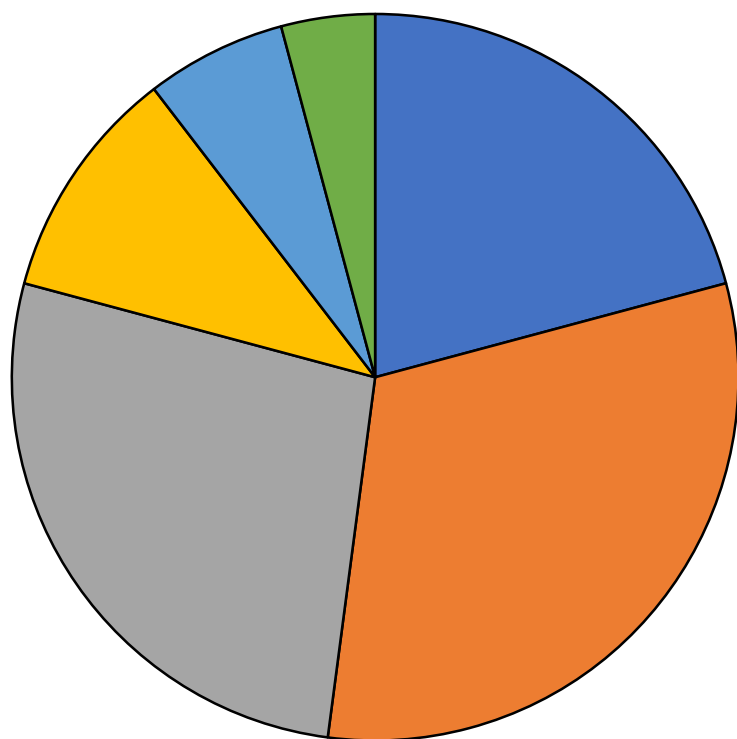
管理対象面積



主な構成員

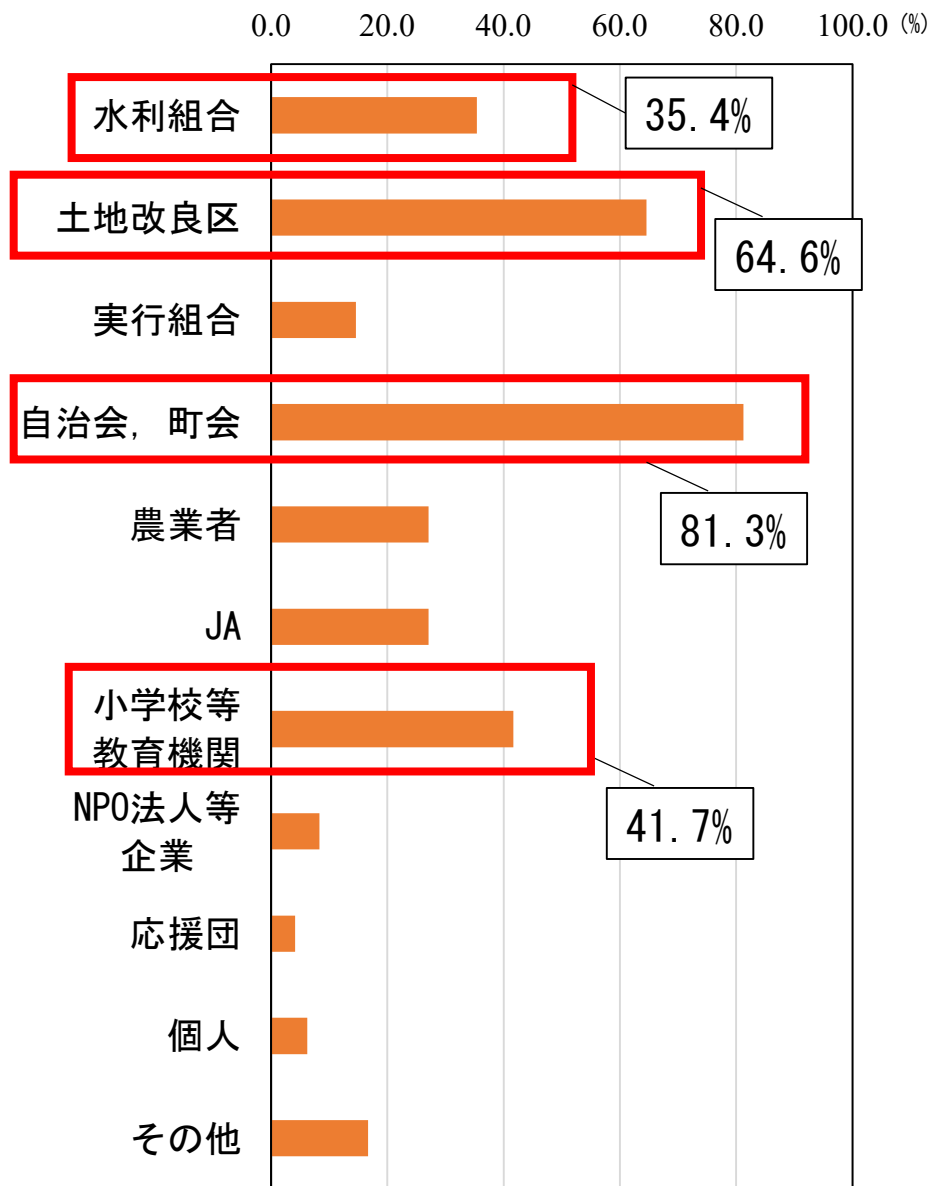
(複数回答)

協議会の取組実態：結果



■ 1~10ha ■ 50~100ha
■ 10~20ha ■ 100~300ha
■ 20~50ha ■ 不明

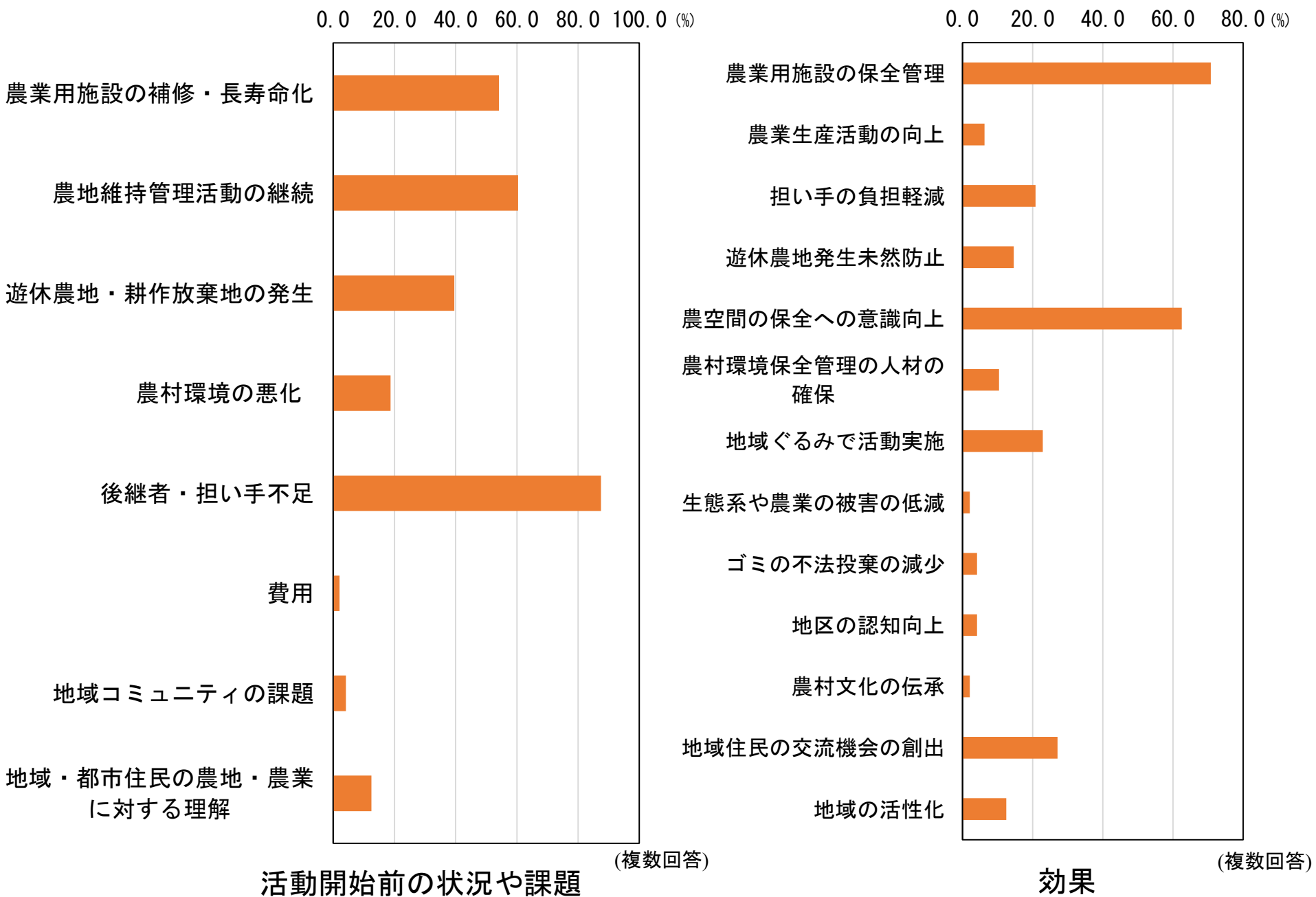
管理対象面積



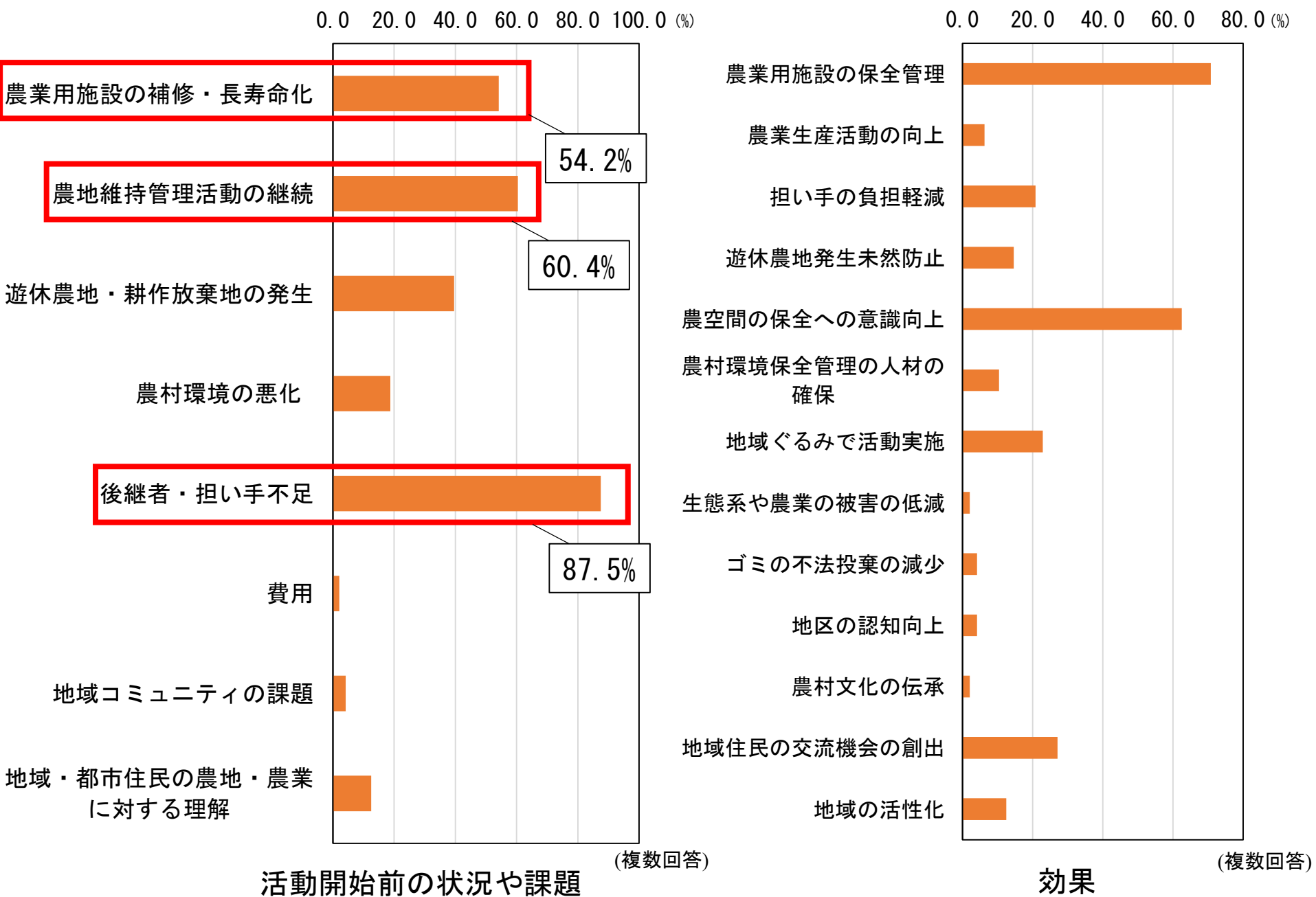
主な構成員

(複数回答)

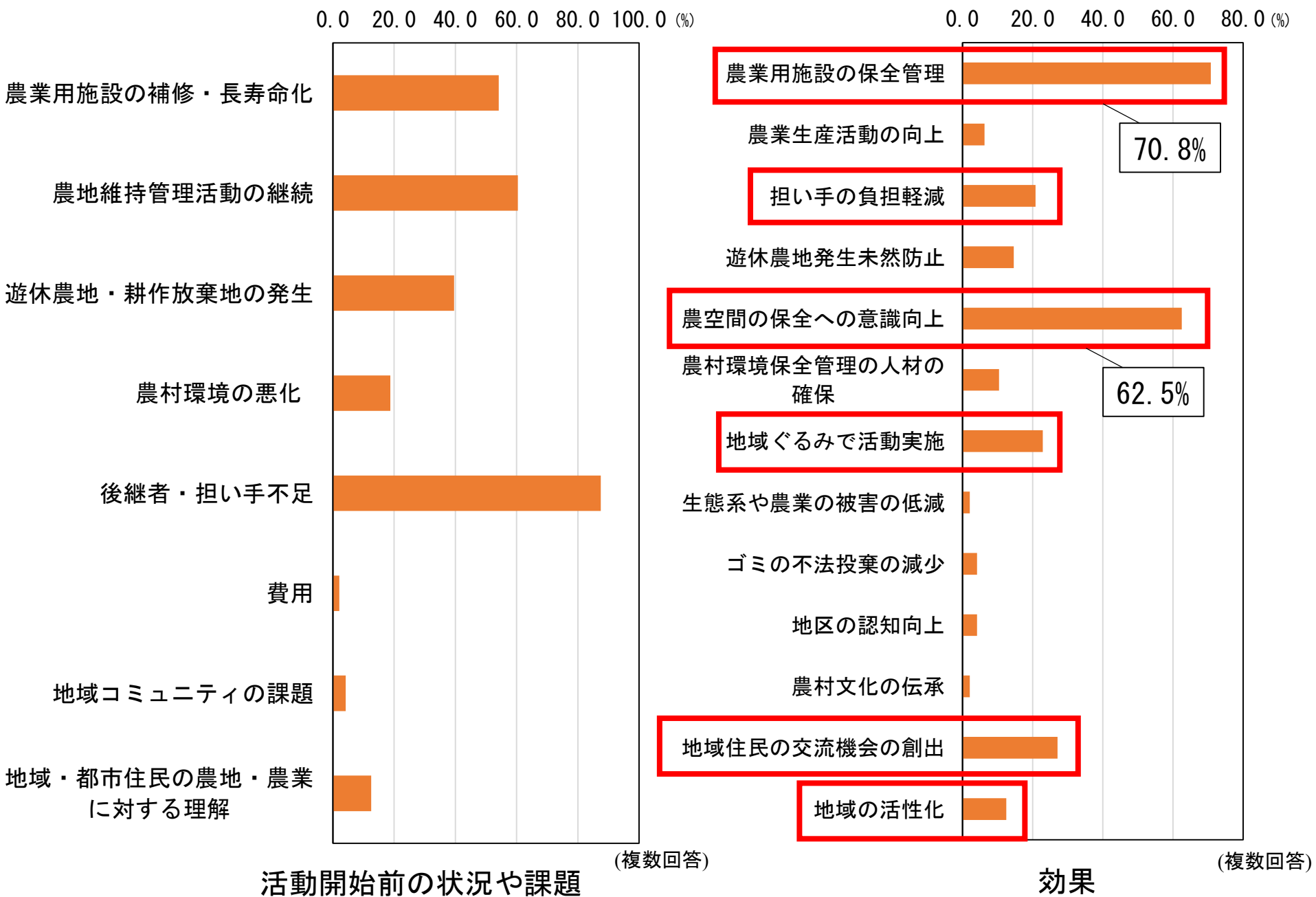
協議会の取組実態：結果



協議会の取組実態：結果

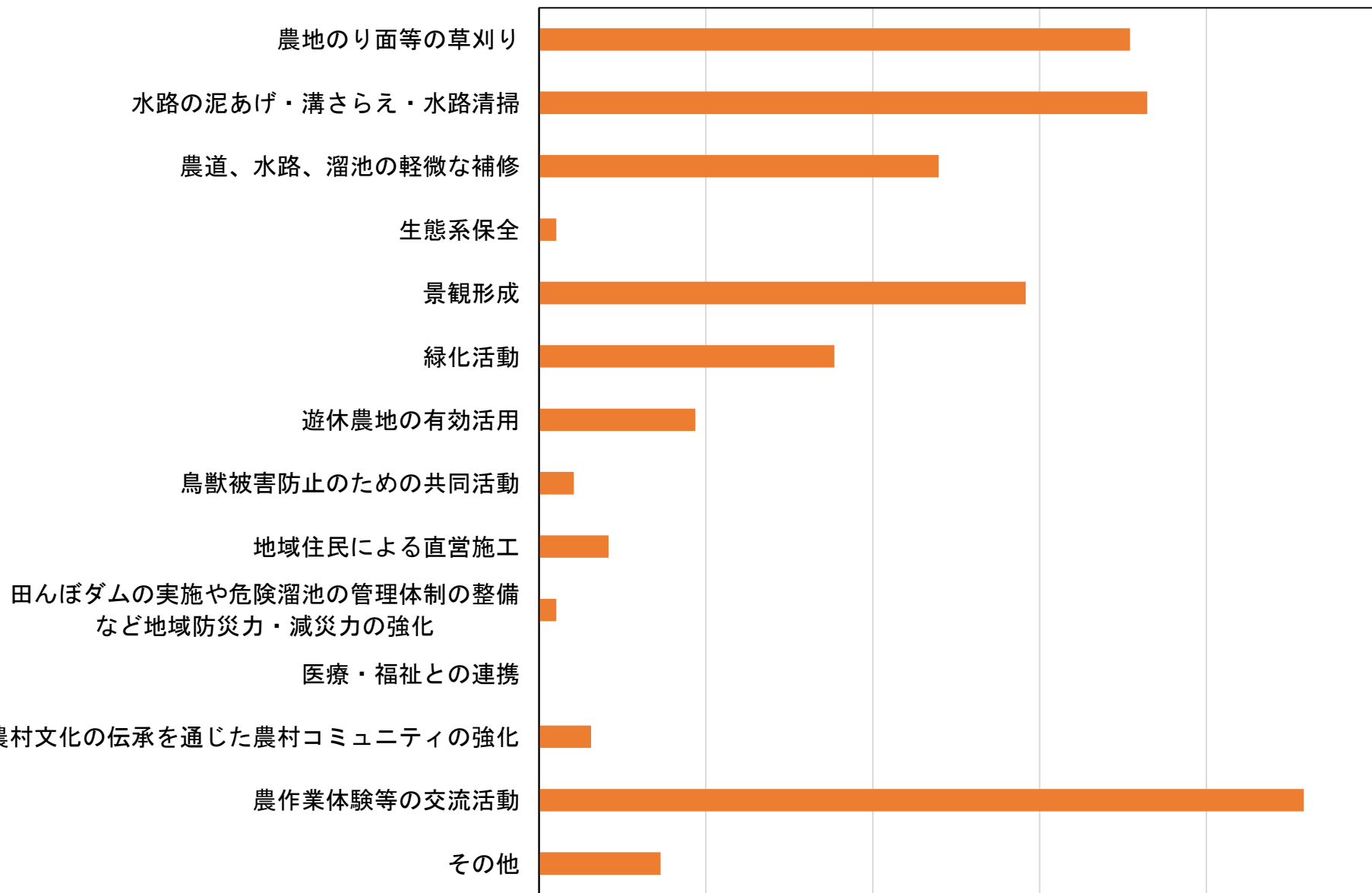


協議会の取組実態：結果



協議会の取組実態：結果

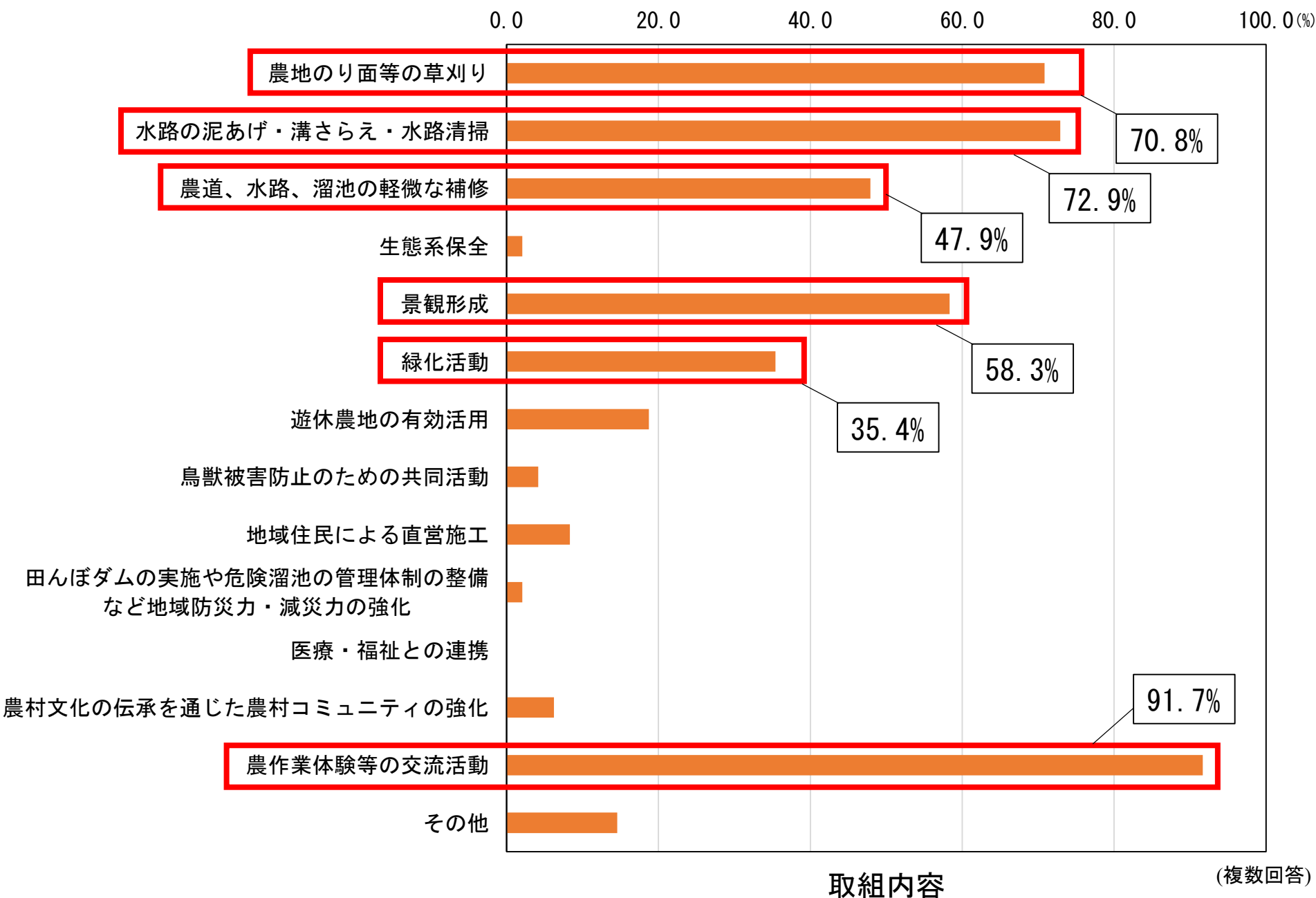
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0(%)



取組内容

(複数回答)

協議会の取組実態：結果



地域内外の交流実態：調査方法

調査対象

- ・大阪府下の農空間保全協議会の取組内容から
地域内外の住民や各種交流団体との交流活動：44団体

調査方法

- ・交流活動が確認できる活動報告書からの読み取り

調査項目

「交流内容」「交流相手」「交流による効果」

解析方法

- ・各団体の交流内容から、タイプ分類
- ・交流相手に対する交流内容毎の効果

地域内外の交流実態：調査方法

地域住民との連携による農空間保全

きたなか

北中地区農空間保全協議会（泉佐野市）

○北中地区は、市街化区域内に多くの農地を有しており、宅地と共存しながら営農を行ってきた。しかし、近年は後継者の減少や、宅地開発等により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○平成27年度に北中地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、近隣小学校が連携し、地域資源の保全を図っている。

資源向上取組地区

【地区概要】

取組面積	30.00ha	[田30.00ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路15.0km 農道 1.5km	パイプライン0.2km ため池 20箇所
主な構成員	土地改良区、小学校	
交付金	900千円（農地維持） 1,099千円（資源向上）	

活動開始前の状況や課題

- 市街化区域内に多くの農地を有し、宅地と共存しながら営農を行ってきたが、後継者不足による担い手の減少により、地域資源の保全に係る負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫など交付金を活用して実施し、農地や施設の維持管理を行っている。
- 農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 学校教育と連携し、地域の小学校や大阪市内の小学校の子どもたちを対象に農作業や収穫体験に取り組み、かつ都市との交流も進めている。



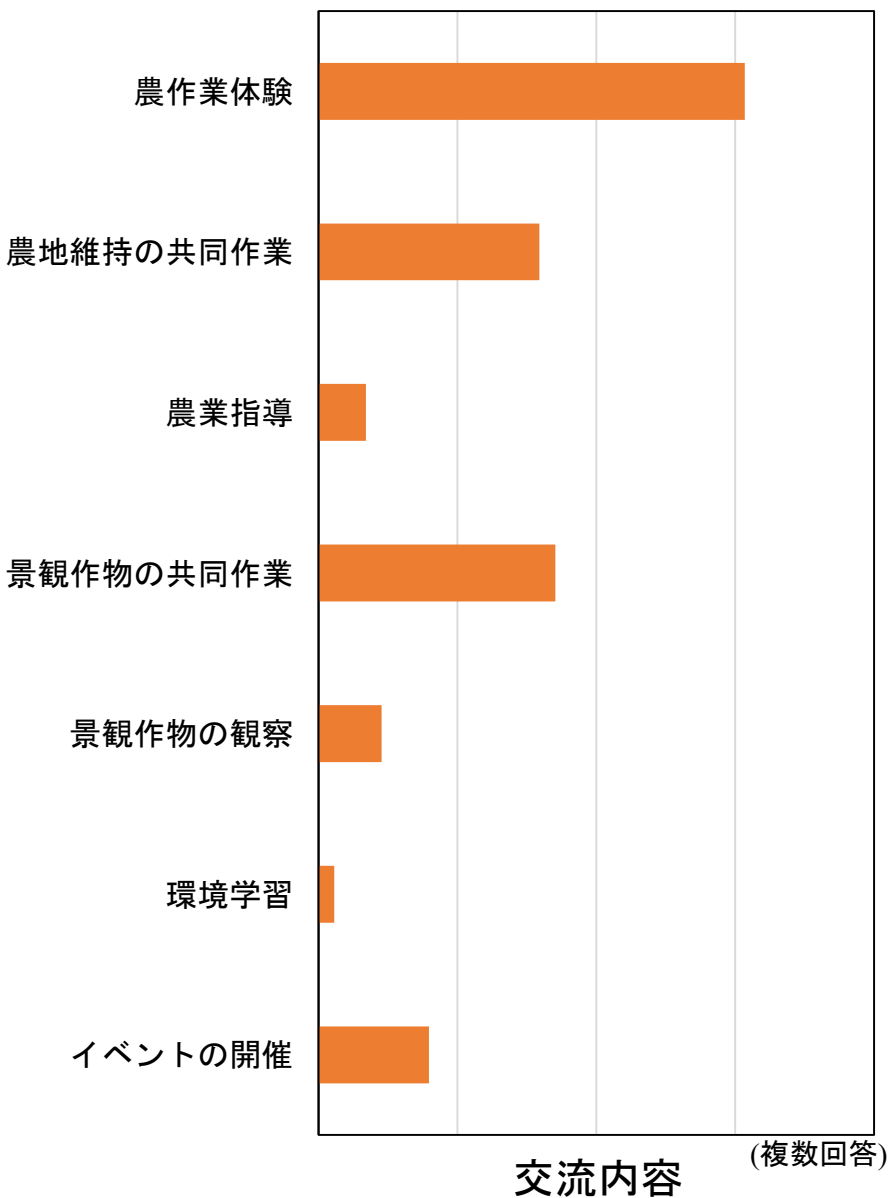
取組の効果

- 土地改良区が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 小学校と連携し、子どもたちに作物を植え、育て、収穫するという一連の作業を体験、身近にある農空間の大切さを認識させることによって、地域住民の理解促進、また地域住民が交流する機会の創出に寄与している。



地域内外の交流実態：結果

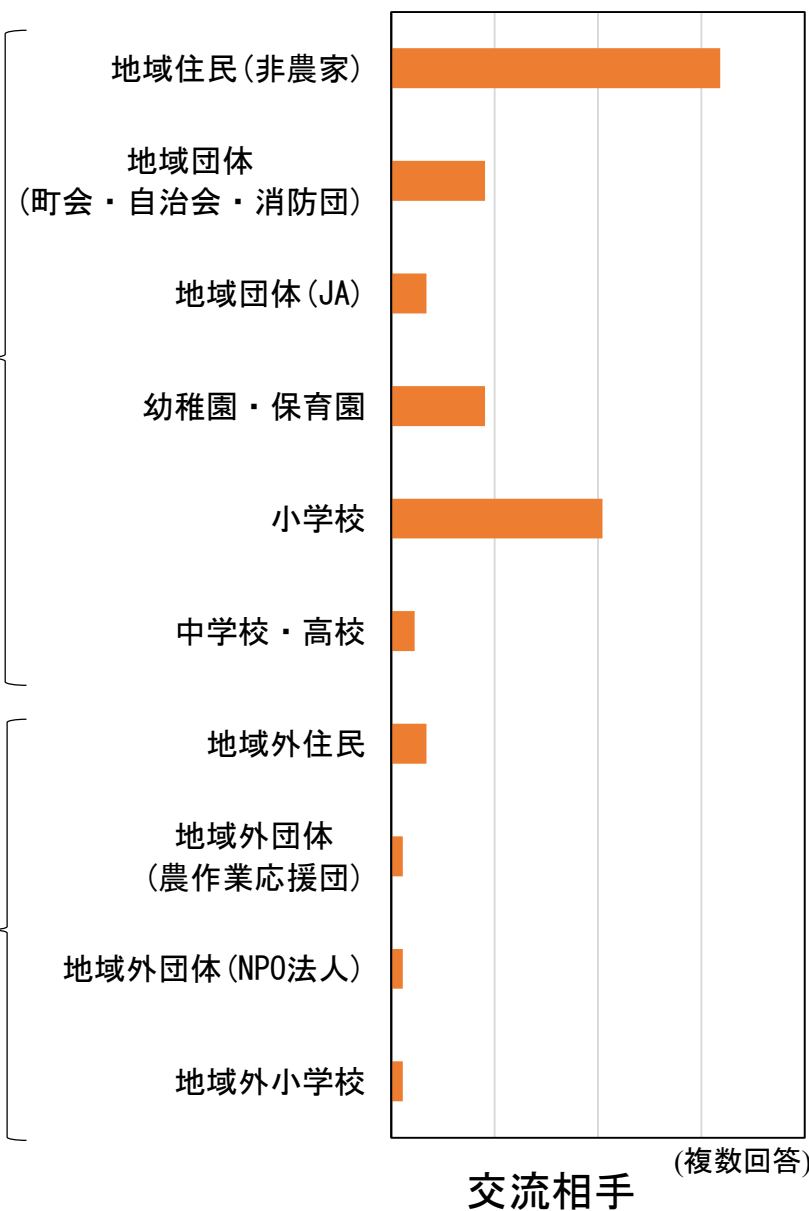
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 (%)



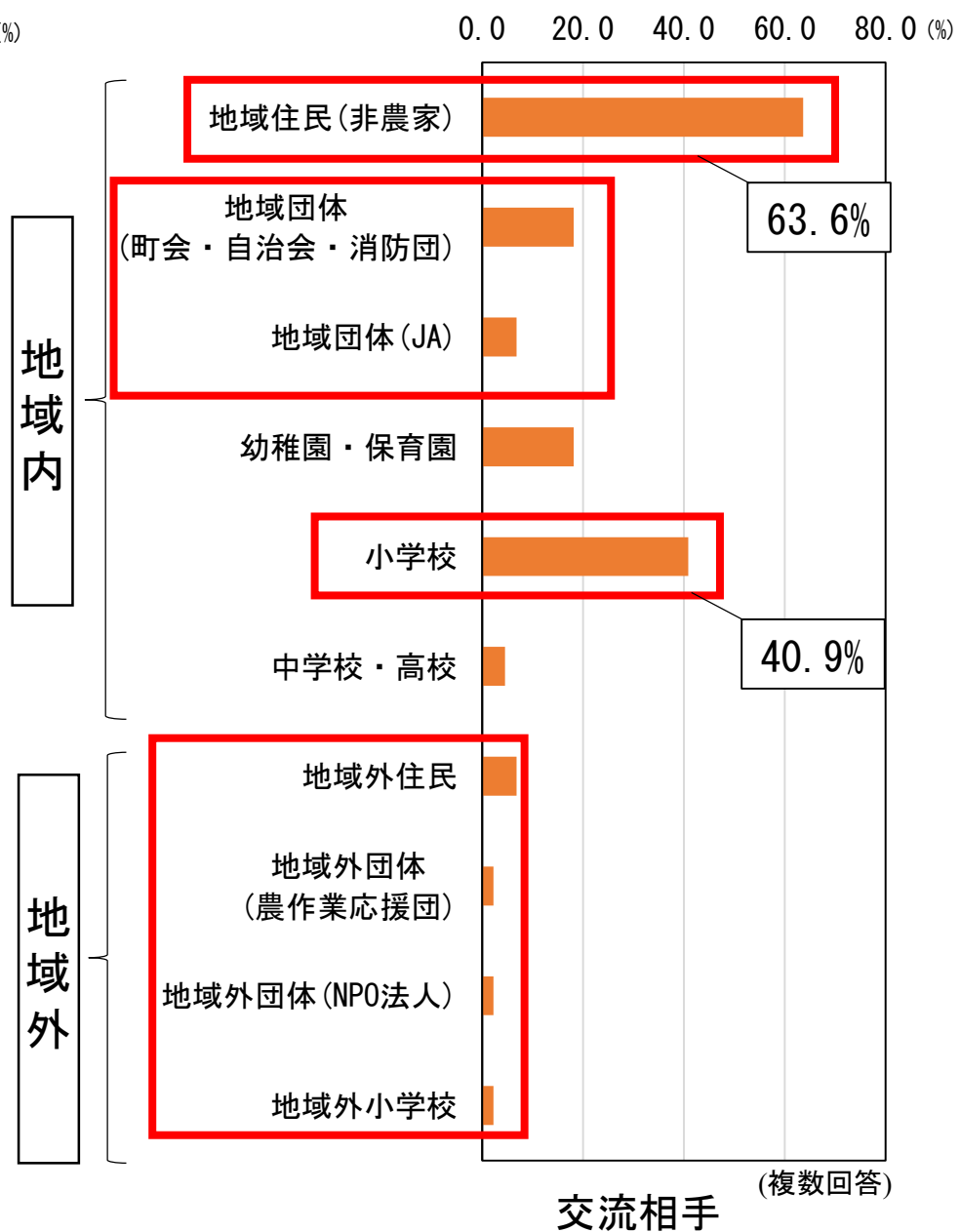
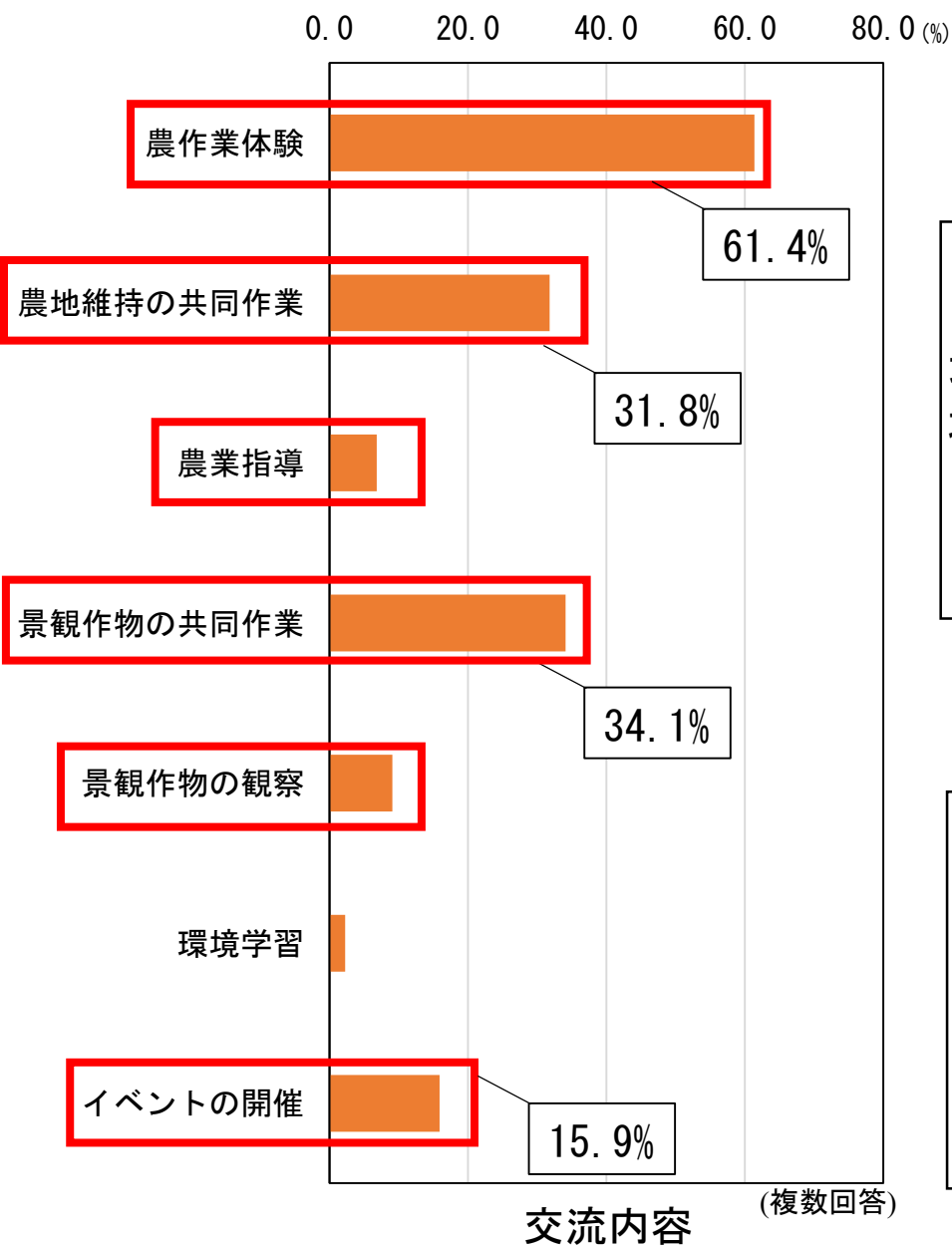
地域内

地域外

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 (%)



地域内外の交流実態：結果



地域内外の交流実態：結果

交流内容	協議会名	交流内容						
		農作業 体験	農地維 持の共 同作業	農業 指導	景観作 物の共 同作業	景観作物 の観察	環 境学 習	イベ ント の催 え
農作業単一型	横山地区農空間保全協議会	●						
	鳥飼八町農空間保全活動委員会	●						
	東条農空間保全協議会	●						
	嬉農空間保全協議会	●						
	等9団体							
農作業複数型	鉢ヶ峰農空間保全協議会	●						●
	高槻東部農空間守ろう会	●	●				●	
	三箇牧地区農空間保全協議会	●				●		●
	清児地区農空間保全協議会	●				●		●
	畑田寛農会	●	●					●
	喜志地区農空間保全協議会	●	●	●		●		
	等22団体							
景観作物 共同作業 単一型	能勢町東地域農地・水環境保全組織				●			
	能勢町西地域農地・水環境保全組織				●			
	日根野地区農空間保全協議会				●			
	名越地区農空間保全協議会				●			
	等9団体							
景観作物 共同作業 複数型	上之郷地区農空間保全協議会		●		●			
	久米田池地区農空間保全協議会		●		●			
	神於山地区農空間保全協議会				●	●		
	岡本地区農空間保全協議会 4団体		●					


農作業複数型：結果

交流内容	協議会名	交流内容						
		農作業 体験	農地維 持の共 同作業	農業 指導	景観作 物の共 同作業	景観作物 の観察	環境 学習	イベント の開催
農作業複数型	そしろ地区農空間保全協議会	●	●					
	黒鳥地区農空間保全協議会	●	●					
	長滝地区農空間保全協議会	●	●					
	大木農空間保全協議会	●	●					
	河南西部農空間保全協議会	●	●					
	長峰地区農空間保全協議会	●			●			
	木積地区農空間保全協議会	●			●			
	鉢ヶ峯農空間保全協議会	●						●
	大平寺地区農空間保全協議会	●						
	陶器北地域農空間保全協議会	●						
	上代町農地・緑地を守る会	●						
	一之井水利グループ	●						
	高槻東部農空間守ろう会	●	●				●	
	三箇牧区農空間保全協議会	●				●		●
	清児地区農空間保全協議会	●				●		●
	畑田寛農会	●	●					●
	三宅地区農空間保全協議会	●	●		●			●
	喜志地区農空間保全協議会	●	●	●		●		
	穂谷地区農空間保全協議会							●
	北加納地区農空間保全協議会			●				
牧農空間まもろう会		●					●	
須賀地区農空間づくり協議会		●	●					

農作業複数型

協議会名	交流内容	交流相手	交流による効果
喜志地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣小学校の5年生による田植え、稲刈り体験の実施 ・ 収穫体験 ・ 施設の勉強会 	<p>地元小学校 地域住民(非農家)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に対する理解の増進や啓発につながる
清児地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行う ・ 地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する ・ 地域住民の交流活動に積極的に取り組んでいる 	<p>地域住民(非農家)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会のメンバーの励み ・ 地域ぐるみの農空間保全が図られている
高槻東部農空間守ろう会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内小学校において、水路・ため池の生き物調査や水質調査等の調べ学習への協力や、学習田・じゃがいも掘りなどの体験を通して、農業に親しむ機会を作っている ・ 水路・樋門周辺に繁茂する外来生物を、市の学芸員や市民ボランティアとともに除去作業を月2回ペースで行なった 	<p>地元小学校 地域外住民 (市の学芸員・市民ボランティア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来生物の拡散の抑制 ・ 生態系や農業への被害の低減につながっている

農作業複数型

協議会名	交流内容	交流相手	交流による効果
喜志地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣小学校の5年生による田植え、稲刈り体験の実施 ・ 収穫体験 ・ 施設の勉強会 	地元小学校 地域住民(非農家)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に対する理解の増進や啓発につながる
清児地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行う ・ 地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する ・ 地域住民の交流活動に積極的に取り組んでいる 	地域住民	
高槻東部農空間守ろう会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内小学校において、水路・ため池の生き物調査や水質調査等の調べ学習への協力や、学習田・じゃがいも掘りなどの体験を通して、農業に親しむ機会を作っている ・ 水路・樋門周辺に繁茂する外来生物を、市の学芸員や市民ボランティアとともに除去作業を月2回ペースで行なった 	地元小学校 地域外住民 (市の学芸員・市民ボランティア)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来生物の拡散の抑制 ・ 生態系や農業への被害の低減につながる

農作業複数型

協議会名	交流内容	交流相手	交流による効果
喜志地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣小学校の5年生による田植え、稲刈り体験の実施 ・ 収穫体験 ・ 施設の勉強会 	地元小学校 地域住民(非農家)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に対する理解の増進や啓発につながる
清児地区農空間保全協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行う ・ 地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する ・ 地域住民の交流活動に積極的に取り組んでいる 	地域住民(非	<div data-bbox="1213 468 1877 905" data-label="Image"> </div>
高槻東部農空間守ろう会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内小学校において、水路・ため池の生き物調査や水質調査等の調べ学習への協力や、学習田・じゃがいも掘りなどの体験を通して、農業に親しむ機会を作っている ・ 水路・樋門周辺に繁茂する外来生物を、市の学芸員や市民ボランティアとともに除去作業を月2回ペースで行なった 	地元小学校 地域外住民 (市の学芸員・市民ボランティア)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来生物の拡散の抑制 ・ 生態系や農業への被害の低減につながっている

農作業複数型：交流相手に対する交流内容毎の効果

交流内容	交流相手						
	地域内				地域外		
	地域住民(非農家)	幼稚園・保育園	小学校	中学校・高校	地域外住民	地域外団体(農業応援団)	地域外団体(NPO法人)
農作業体験	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 食糧生産の大切さの意識づけ 景観保全に対する意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 食糧生産の大切さの意識づけ 農空間に対する意識の向上 参画への理解促進 景観保全に対する意識の向上 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 参画への理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 参画への理解促進 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 継続のための地盤形成
農業指導	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 労力の低減 						
環境学習			<ul style="list-style-type: none"> 特定外来生物の拡散の抑制 生態系や農業への被害低減 		<ul style="list-style-type: none"> 特定外来生物の拡散の抑制 生態系や農業への被害低減 		
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 食糧生産の大切さの意識づけ 農空間に対する意識の向上 交流する機会の創出 		<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 食糧生産の大切さの意識づけ 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 農業への理解促進 交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の認知向上 地域の活性化 		

景観作物共同作業複数型：結果

交流内容	協議会名	交流内容						
		農作業 体験	農地維 持の共 同作業	農業 指導	景観作 物の共 同作業	景観作物 の観察	環境 学習	イベント の開催
景観作物 共同作業複数型	上之郷地区農空間保全協議会		●		●			
	久米田池地区農空間保全協議会		●		●			
	神於山地区農空間保全協議会				●	●		
	岡本地区農空間保全協議会		●					

景観作物共同作業複数型

協議会名	交流内容	交流相手	交流による効果
<p>上之郷地区農空間保全協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会と共同で水路の泥上げを実施 ・ 地元小学校と連携し、植栽等の活動を展開 	<p>地元小学校 地域団体 (町会・自治会・消防団) 地域住民(非農家)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非農業者への普及・啓発が図られている
<p>久米田池地区農空間保全協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久米田池全体の景観及び環境保全活動として、ガマの花穂摘み取り作業 ・ 遊歩道と西堤公園の植栽活動の実施 	<p>地域団体 (町会・自治会・消防団) 地域住民(非農家)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家の負担軽減 ・ 営農環境の改善が期待できる ・ 景観保全に対する意識が向上 ・ 不法投棄が少なくなることが期待できる

景観作物共同作業複数型：交流相手に対する交流内容毎の効果

交流内容	交流相手		
	地域内		
	地域住民(非農家)	地域団体(町会・自治会・消防団)	小学校
景観作物の共同作業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業への理解促進 ・地域の活性化 ・農空間に対する意識の向上 ・交流する機会の創出 ・参画への理解促進 ・景観保全に対する意識の向上 ・不法投棄防止 		<ul style="list-style-type: none"> ・農空間に対する意識の向上
農地維持の共同作業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業への理解促進 ・営農環境の改善 ・労力の低減 ・景観保全に対する意識の向上 ・不法投棄防止 ・交流する機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業への理解促進 ・農地維持活動の充実 ・営農環境の改善 ・労力の低減 ・交流する機会創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業への理解促進
景観作物の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・農空間に対する意識の向上 		

都市農地を媒介とした交流形態

交流活動の効果

- ・都市農地保全の担い手不足が大きな課題となる中で、農空間保全協議会は農地維持活動を土台としつつ農作業体験等の交流活動を行うことにより、地域住民に対する農空間への意識の向上といった効果が見られた。

交流相手に対する交流内容毎の効果

- ・農作業体験では、地域内の住民や子ども達に対して、農業そのものへの理解を促進させると共に、地域ぐるみの農空間保全へと発展させることができる。
- ・農作業体験の他に、イベント等の交流活動が加わることで、地域内外の住民や各種団体に対する地区の認知へとつながる。
- ・景観作物共同作業に加えて、農地維持活動に地域団体に関わることで、農業者の労力の低減が図られ、ため池や水路、農道等の共同管理につながる。